

教科	地理歴史	科目	地理A	単位数	2	学年	2	科	商業・生福
----	------	----	-----	-----	---	----	---	---	-------

1、科目の目標

自然地理および人文地理の学習に地図を有効活用して知識の修得に努め、地理的視野を養いつつ、課題の探求や地誌的考察ができるようにする

2、使用教科書・副教材

基本地理A(二宮書店)
 フォトグラフィア地理図説2021(とうほう) 標準高等地図(帝国書院)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	第1章 球面上の世界 ○ 地球儀と地図 ○ 国と国の結びつき	中間考查	18
	5月	○ 地図で見る世界のつながり	期末考查	
	6月	○ 地球儀と地図 ・地形図		
二学期	7月	第2章 自然・生活・文化と私たちの暮らし	中間考查	32
	8月	○ 地形と私たちの暮らし		
	9月	○ 気候と私たちの暮らし		
		○ 経済と文化と私たちの暮らし		
	10月	第3章 世界各地の生活文化 (中国・朝鮮半島・東南アジア・南アジア) (中央アジア・西アジア・北アフリカ)		
11月	(サハラ以南アフリカ) (ヨーロッパ・ロシア) (アングロ・ラテンアメリカ) (オセアニア)			
	12月	第4章 地球的課題 ○ 人口問題 ○ 食料問題	学年末考查	20
三学期	1月	○ 居住・都市問題		
	2月	○ 資源・エネルギー問題		
	3月	○ 環境問題		

4、評価の方法

主体的な言語活動		・生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める ・授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する ・時には扱う内容に簡単な論述や討議および説明等ディベート的な形態も取り入れる
	関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応等、様々な角度から積極性を観る
	思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
	資料活用・技能	地図帳の持つ特性を理解して機能的に活用しているか観る
	知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する(考查、発問に対する解答、課題提出等で判断)

5、学習にあたっての注意とアドバイス

・板書事項や口頭説明等、ポイントを各自工夫してノートする
 ・欠課遅刻をなくし授業を大事にする
 ・履修事項を知識としてだけでなく問題意識をもって考察する

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2	学年	2	科	商業・生福
----	------	----	------	-----	---	----	---	---	-------

1、科目の目標

国際関係を重視した日本近現代史を学び、歴史的諸事情の本質と現代の諸課題を考察することを通して、これからの日本のあり方について主体的に思考し、行動していく資質を養う。

2、使用教科書・副教材

高等学校改訂版日本史A「人・暮らし・未来」(第一学習社)、日本史のアーカイブ(とうほう)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	近現代学習のはじめに	中間考查	4
	5月	近代への胎動・戒告と幕末の動乱		5
	6月	近代国家の形成	期末考查	5
	7月	国際関係の推移と近代産業の発展		4
二学期	8月	第一次世界大戦と日本	中間考查	5
	9月			8
	10月	第二次世界大戦と日本	期末考查	9
	11月			10
三学期	12月	日本の再出発	学年末考查	11
	1月	独立後の政治と経済の発展・現代の日本と世界		9
	2月			
	3月			

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 難解な表現・歴史的事象は平易な説明・板書を心掛け、生徒が積極的に発言できるようにする 時には扱う内容に簡単な論述や討議および説明等ディベート的な形態も取り入れる
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応、発言等、様々な角度から積極性・意欲を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
資料活用・技能	資料集の持つ特性を理解して機能的に活用しているか観る
知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する(考查、発問に対する解答、小テスト等で判断)

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- 板書事項や口頭説明等、ポイントを各自工夫してノートに記入する
- 欠課遅刻をなくし授業を大事にする
- 授業中に疑問や興味関心がわき起こった時、積極的な発言を求める
- 履修事項を知識としてだけでなく問題意識をもって考察する

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	3	学年	3	科	商業・生福
----	------	----	------	-----	---	----	---	---	-------

1、科目の目標

幅広い世界史の知識を通して、われわれが生きている世界や時代がどのように成り立ってきたかを理解させる。

2、使用教科書・副教材

高等学校 高校世界史(山川出版社)、明解世界史図説エスカリエ(帝国書院)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	人類の出現と文明の形成、西アジア・地中海世界の形成	中間考查	6
	5月	南アジア世界の形成、東アジア・内陸アジア世界の形成、		7
	6月	イスラーム世界の形成と拡大、ヨーロッパ世界の形成と変動	期末考查	8
	7月	内陸アジア世界動向と諸地域、世界アジア諸帝国の繁栄と成熟、		6
二学期	8月	ヨーロッパ世界の拡大と太平洋世界、ヨーロッパ主権国家体制の成立	中間考查	7
	9月	アメリカとフランスの革命、産業革命		14
	10月	19世紀のヨーロッパ、アメリカ合衆国の膨張	期末考查	14
	11月	世界市場の形成とアジア諸国、帝国主義と世界の変容		13
三学期	12月	第一次世界大戦と民族主義の展開、ファシズムの台頭と第二次世界大戦	学年末考查	11
	1月	米ソ冷戦と第三勢力、国際対立と国際協調		9
	2月	科学技術の発達と現代文明		7
	3月	これから世界と日本 まとめ		3

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 各科に関する歴史的テーマを設定し、発表をさせる。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応等、様々な角度から積極性を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
資料活用の技能	資料集の図表を判読し、理解して機能的に活用しているか観る
知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する(考查、発問に対する解答、課題提出等で判断)

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・板書事項や口頭説明等、ポイントを各自工夫してノートする
- ・欠課遅刻をなくし授業を大事にする
- ・履修事項を知識としてだけでなく問題意識をもって考察する
- ・単に語句の暗記にとどまらず、地図などを利用し、国・出来事の位置関係をイメージしてみる

教科	地理歴史	科目	地理 A	単位数	2	学年	3	科	建築・電気・機械・ 電子機械・食物栄養
----	------	----	------	-----	---	----	---	---	------------------------

1、科目の目標

自然地理および人文地理の学習に地図を有効活用して知識の修得に努め、地理的視野を養いつつ、課題の探求や地誌的考察ができるようにする

2、使用教科書・副教材

基本地理 A (二宮書店)
 フォトグラフィア地理図説 2021 (とうほう) 標準高等地図 (帝国書院)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	第1章 球面上の世界	中間考查	18
	5月	○ 地球儀と地図 ○ 国と国の結びつき		
	6月	○ 地図で見る世界のつながり ○ 地球儀と地図 ・地形図	期末考查	
二学期	7月	第2章 自然・生活・文化と私たちの暮らし	中間考查	32
	8月	○ 地形と私たちの暮らし		
	9月	○ 気候と私たちの暮らし ○ 経済と文化と私たちの暮らし		
	10月	第3章 世界各地の生活文化 (中国・朝鮮半島・東南アジア・南アジア) (中央アジア・西アジア・北アフリカ)		
	11月	(サハラ以南アフリカ) (ヨーロッパ・ロシア) (アングロ・ラテンアメリカ) (オセアニア)		
三学期	12月	第4章 地球的課題	学年末考查	20
	1月	○ 人口問題 ○ 食料問題		
	2月	○ 居住・都市問題		
	3月	○ 資源・エネルギー問題 ○ 環境問題		

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 時には扱う内容に簡単な論述や討議および説明等ディベート的な形態も取り入れる
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応等、様々な角度から積極性を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
資料活用の技能	地図帳の持つ特性を理解して機能的に活用しているか観る
知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する(考查、発問に対する解答、課題提出等で判断)

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- 板書事項や口頭説明等、ポイントを各自工夫してノートする
- 欠課遅刻をなくし授業を大事にする
- 履修事項を知識としてだけでなく問題意識をもって考察する

教科	地理歴史	科目	日本史A	単位数	2	学年	3	科	建築・電気・機械・電子機械・食物栄養
----	------	----	------	-----	---	----	---	---	--------------------

1、科目の目標

国際関係を重視した日本近現代史を学び、歴史的諸事情の本質と現代の諸課題を考察することを通して、これからの日本のあり方について主体的に思考し、行動していく資質を養う。

2、使用教科書・副教材

高等学校改訂版日本史A「人・くらし・未来」（第一学習社）、日本史のアーカイブ（とうほう）

3、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	4月	近現代学習のはじめに	中間考査	4
	5月	近代への胎動・戒告と幕末の動乱		5
	6月	近代国家の形成	期末考査	5
	7月	国際関係の推移と近代産業の発展		4
二学期	8月	第一次世界大戦と日本	中間考査	5
	9月			8
	10月	第二次世界大戦と日本	期末考査	9
	11月			10
三学期	12月	日本の再出発	学年末考査	11
	1月	独立後の政治と経済の発展・現代の日本と世界		9
	2月			
	3月			

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 難解な表現・歴史的事象は平易な説明・板書を心掛け、生徒が積極的に発言できるようにする 時には扱う内容に簡単な論述や討議および説明等ディベート的な形態も取り入れる
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応、発言等、様々な角度から積極性・意欲を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
資料活用の技能	資料集の持つ特性を理解して機能的に活用しているか観る
知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する（考査、発問に対する解答、小テスト等で判断）

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・板書事項や口頭説明等、ポイントを各自工夫してノートに記入する
- ・欠課遅刻をなくし授業を大事にする
- ・授業中に疑問や興味関心がわき起こった時、積極的な発言を求める
- ・履修事項を知識としてだけでなく問題意識をもって考察する

令和4年度 「公共」学習指導計画

学科	全学科	コース		学年	1	履修	必修
教科	公民	科目名	公共	単位数	3	時数	105
教科書名（発行所）	公共（東京法令出版）		副教材（発行所）				
目標	社会の基礎知識を学び、基本的事項について理解する。 学んだことを身近な問題と関連づけ、主体的に判断・解決できる能力を養う。						

（注）評価の観点とは、Ⅰ「知識・技能」Ⅱ「思考・判断・表現」Ⅲ「主体的に取り組む態度」を示す。

学期	月	内容のまとめ	単元 （実習項目）	単元の目標 （具体的目標）	評価の観点				配当 時数	主な 評価
					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ			
1	4	公共	人と社会 多様性と包括	選択・判断するための手がかりとなる概念や理論、重要な視点を学ぶ	○	○	○		10	質問 式
	5	政治	人間の尊厳と平等	公共的な空間をつくる上で必要であることについて理解する	○	○	○		10	質問 式
	6	政治	現代の民主政治	公共的な空間における基本的原理について理解する	○	○	○		10	質問 式
	7	政治	国会・内閣・裁判所	法や規範の意義及び役割について理解する 国会・内閣・裁判所の機能と役割や関係性について理解する 人権を保障するしくみについて理解する	○	○	○		8	質問 式
2	8	政治	地方自治・選挙制度	地方政治・政治参加と公正な世論の形成などに関わる現実社会の事柄や課題について理解する	○	○	○		4	質問 式
	9	経済	経済のしくみ	経済活動と経済主体、市場機構の機能と限界について理解する 現代社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を収集し読み取りまとめる	○	○	○		10	質問 式
	10	経済	財政・戦後経済	戦後の日本経済の推移などに関わる現実社会の事柄や課題を理解する	○	○	○		10	質問 式
	11	経済	労働問題 環境問題	現実社会の事柄や課題を理解する	○	○	○		10	質問 式
	12	国際	国際政治	国際政治に関わる現実社会の事柄や課題について理解する	○	○	○		10	質問 式
3	1	国際	国際経済	国際経済に関わる現実社会の事柄や課題について理解する	○	○	○		10	質問 式
	2	国際	国際社会の現状と課題	国際社会に関わる現実社会の事柄や課題について理解する	○	○	○		10	質問 式
	3	国際	持続可能な社会をつくるために	地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし、その課題解決に向けて事実をもとに考察し、自分の考えをまとめる	○	○	○		3	質問 式

【観点別評価】

評価項目・対象	講義	演習	実験・実習	定期考査	実技テスト・ 小テスト	ノート・ レポート	課題・作品	発言・プレゼン	検定・資格	観点別
Ⅰ 知識・技能	20			70		10				100
Ⅱ 思考・判断・表現	20			70		10				100
Ⅲ 主体的に取り組む態度	20			10		70				100
評価の重点	①授業に意欲的に取り組むことができたか ②授業で習ったことをしっかりと理解しているか ③提出物をしっかりと出すことができたか									

5
5

評価方法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

観察法
 評価法
 スト法

割合計

%

%

%

教科	地理歴史	科目	世界史A	単位数	2	学年	2	科	メカ・建築・電気
----	------	----	------	-----	---	----	---	---	----------

1、科目の目標

幅広い世界史の知識を通して、われわれが生きている世界や時代がどのように成り立ってきたかを理解させる。

2、使用教科書・副教材

高等学校 世界史A（第一学習社）、明解世界史図説エスカリエ（帝国書院）

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	歴史の基礎事項	中間考查	4
	5月			5
	6月	ユーラシアの諸文明	期末考查	5
	7月			4
二学期	8月	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	中間考查	4
	9月			9
	10月	アジア諸国の変容と近代の日本	期末考查	9
	11月			10
三学期	12月	帝国主義の時代・急変する人類社会 世界戦争と平和 三つの世界と日本の動向・地球社会への歩みと課題	学年末考查	6
	1月			6
	2月			6
	3月			2

4、評価の方法

主体的な言語活動		<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 時には扱う内容に簡単な論述や討議および説明等ディベート的な形態も取り入れる
	関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応等、様々な角度から積極性を観る
	思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
	資料活用の技能	資料集の図表を判読し、理解して機能的に活用しているか観る
	知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する（考查、発問に対する解答、課題提出等で判断）

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- 板書事項や口頭説明等、ポイントを各自工夫してノートする
- 欠課遅刻をなくし授業を大事にする
- 履修事項を知識としてだけでなく問題意識をもって考察する

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	3	学年	2	科	食栄
----	------	----	------	-----	---	----	---	---	----

1、科目の目標

幅広い世界史の知識を通して、われわれが生きている世界や時代がどのように成り立ってきたかを理解させる。

2、使用教科書・副教材

高等学校 高校世界史(山川出版社)、明解世界史図説エスカリエ(帝国書院)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	4月	人類の出現と文明の形成、西アジア・地中海世界の形成	中間考查	6
	5月	南アジア世界の形成、東アジア・内陸アジア世界の形成、		7
	6月	イスラーム世界の形成と拡大、ヨーロッパ世界の形成と変動	期末考查	8
	7月	内陸アジア世界動向と諸地域、世界アジア諸帝国の繁栄と成熟、		6
二学期	8月	ヨーロッパ世界の拡大と太平洋世界、ヨーロッパ主権国家体制の成立	中間考查	7
	9月	アメリカとフランスの革命、産業革命		14
	10月	19世紀のヨーロッパ、アメリカ合衆国の膨張	期末考查	14
	11月	世界市場の形成とアジア諸国、帝国主義と世界の変容		13
三学期	12月	第一次世界大戦と民族主義の展開、ファシズムの台頭と第二次世界大戦	学年末考查	11
	1月	米ソ冷戦と第三勢力、国際対立と国際協調		9
	2月	科学技術の発達と現代文明		7
	3月	これから世界と日本 まとめ		3

4、評価の方法

主体的な言語活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への発問解答など対話形式を大切にして授業を進める 授業内容の説明や発問はできるだけ分かりやすく的確な言葉で行い、生徒にも同様の視点に立って解答をするように指導する 各科に関する歴史的テーマを設定し、発表をさせる。
関心・意欲・態度	出席、授業態度、反応等、様々な角度から積極性を観る
思考・判断・表現	発問に対する解答やそれに至る思考過程および反応を観る
資料活用の技能	資料集の図表を判読し、理解して機能的に活用しているか観る
知識・理解	履修事項の嵩上げがなされているか確認する(考查、発問に対する解答、課題提出等で判断)

5、学習にあたっての注意とアドバイス

- ・板書事項や口頭説明等、ポイントを各自工夫してノートする
- ・欠課遅刻をなくし授業を大事にする
- ・履修事項を知識としてだけでなく問題意識をもって考察する
- ・単に語句の暗記にとどまらず、地図などを利用し、国・出来事の位置関係をイメージしてみる